

Carrier Rubric

学年段階目標	習熟カテゴリ		学力の向上		キャリア			進路実現の方策			
			学力	資格検定	グローバル力	ポートフォリオ	職業観	進路選択・実現	家庭との連携		
	レベル	進路探究のポイント	大学入試の全国偏差値／学力の三要素／進路実現	英語	MARCH=A2	国際感覚・世界標準	振り返り／自己啓発	人生設計／社会貢献	向学心・向上心／総合型選抜	共通理解の重要性	
	高3	6	卒業後、上級学校で学びを深め、職業を通して人・社会・自然に貢献するための道筋を確立し、次世代をリードする分野を決定できる。	目標を達成するための学力を保持する。 ・自分で課題を見つけ、自分の力で対処できる。 ・授業と連動して、入試科目に対応した効果的な学習を自ら見出し、実践し、合格ラインに到達する。 ・大学入試共通学力テスト6教科7科目に十分対応できる学力を身に付ける。 ・国立大個別試験／難関私立大学の記述型入試に対応できる文章力、洞察力、判断力、思考力を身に付ける。	CEFR C1 英検2～1に合格する。 総合型選抜・学校推薦型選抜の出願条件となる資格・検定に合格する。	河合 60.0以上 GTZ S3～A1	・より外に開いた視点で、健全かつ友好的な国際感覚を身に付ける。 ・経済、政治、民族、宗教、文化それぞれの視点で国際情勢を理解できる。	・大学進学後まで見通した計画を主体的に構築することができる。振り返りと目標設定のスパイラルを形成し、継続した伸長を図り、日々、学び続けることの意味を理解し未来へつなげる。	具体的な将来の希望を確立する。 次世代の日本と世界を背負う意義と自覚を持つ。 具体的な職業を選択もしくは考え、現実的な人生設計ができる。労働環境や労働条件に関する法規を理解し、労働行為等に対する理解を深める。	大学進学後を見据えて、自分に必要な情報を分析し、自ら計画を立て、対策を施し、実行することができる。 ・進路実現(＝大学合格)に向けた、具体的かつ現実的な受験準備計画の立案と実行および成果の検証によるフィードバックを行い、第1志望大学に合格する。	三者面談等を通して、保護者と生徒の受験に対する具体的方向性(手順)を、学校、保護者、本人の間で一致させる。 経済的問題を組み入れた対応。
	高2	5	自らの進路について、学びたいことを学べる環境を見出し、大学入試に向けた具体的かつ現実的な学習計画を立て、実行し、成果として反映させることができる。	与えられた課題に対し、自分の力で解決できる能力を向上させる。 ・振り返りによる客観的な学力理解に基づいた学習方法の確立し、実力テストの自己採点、結果による反省、目標設定、学習計画の策定および実行を自主的にこなすことができる。 ・高校基礎学力テストに十分対応できる。 ・研究活動の意義を理解し実践する。(研究室訪問など)	CEFR B2 英検準2級以上に合格する。 総合型選抜・学校推薦型選抜の出願条件となる資格・検定に合格する。	河合 57.5～60.0 GTZ A1～A2	・語学研修等を通して、英語での日常生活が可能コミュニケーション能力を有する。 ・外国の文化や習慣の違いを素直に受け入れ、外国人と心情に寄り添い、関わる力を身に付ける。	・ポートフォリオを学びの深化につなげられる。 記録の積み重ねを振り返ることで、自分に足りないところを客観的に把握し、弱点を克服するための具体的な行動ができる。	経済や産業構造の観点から、職業について理解する。 社会が必要とする能力について再確認し、問題解決能力や思考力、表現力、対人関係処理能力向上の重要性を理解する。	大学入試制度のしくみを理解する。 大学ごとに異なる入試制度を理解し、具体的に取り組むための方策を考え、実行する。 大学説明会、大学授業見学等を通して、各大学の研究内容、教育体制等の理解を深め、具体的に複数の受験大学に絞り込むことができる。	大学ごとに異なる入試制度を理解し、具体的に取り組むための方策を踏まえ、現実的な進路選択を進路実現に向け、学校、保護者、本人との間で共通理解が図られる。
	高1	4	自らの進路について、学びたいことを見つけようとする姿勢を持ち、また自らの適性を客観的に判断しながら進路について具体的に考え、文系・理系・選択科目・取得資格等について適切な選択ができる。	基礎学力の定着と学習の課題に対応する方法を学ぶ。 ・高校5教科基礎科目のミニマムエッセンスを修得する。 ・社会を広く見通す力を向上させ、様々な事象に対して自らの考えを構築できる力を伸ばす。 ・学力も含めた客観的な自己分析に基づいて、適切な文理選択と科目選択ができる。 ・実力テスト等の振り返りを通して、課題の抽出と解決、目標値を設定し、次の試験の準備ができる。	CEFR B1 英検準2～3級に合格する。	河合 55.0～57.5 GTZ A2～A3	語学研修や海外体験、ネイティブや英会話オンライン等、英語でのコミュニケーションの機会を積み重ね、実用的な会話力とコミュニケーション能力を向上させる。	ポートフォリオに自らの判断で日々の活動を入力し、活動の反省も含めた詳しい記述ができる。 学校生活全体を通して、学習の見通しを立て、学習計画を立てることができる。	職業の種類と具体的内容について理解を深め、各職種と大学の学問分野および学科ごとの研究内容との結びつきを理解する。 職業選択の幅を広げるために学力向上や大学(学部学科)選択の重要性を理解する。	学習成績の状況(評定平均)を理解する。 自らの学力を客観的に把握した上での適切な文理選択ができる。 学部・学科の研究内容を理解する。 出張授業、オープンキャンパスに参加し、各大学の研究内容やアドミッションポリシーを理解する。 探究活動を通じ、学びたいことを	大学入試制度の理解 大学を取り巻く現状の理解 大学偏差値の理解。 文理選択において、実力テストの結果を踏まえて、学校、家庭、本人との間で共通理解が図られる。
	中3	3	大学の学問について理解し、その進路実現の基盤となる能力を身に付け、高校入学後も活用できるようにする。	環境に左右されない適切な学習習慣の確立と、自らの考えを構築するための基盤を形成する。 ・中学校5教科のミニマムエッセンスを確実に修得する。 ・探究的学習により幅広く社会を見通す力を伸ばし、報道される社会問題を正しく捉えられるような一般的な教養を身に付ける。	CEFR A2 英検3級に合格する。	GTZ A3～B1	・イングリッシュキャンプやオーストラリア修学旅行等の体験を通して、文化、自然の日本との違いを理解し、日本への認識を深める。	ポートフォリオの振り返りから、その意義を理解し、日々の気づきの中から将来有効であろう記録を選択し、主体的に残すことができる。	大学の学問分野と職業との結びつきを理解する。 第1次産業から、既存の分類にあてはまらない職種まで理解を広め、自らの身近な経験だけに拘らない職業観を養う。	大学で学ぶ専門性について、中・高校との比較を通して理解する。 出張授業、オープンキャンパスに参加し、各学部・学科特性と内容を理解する。 大学入試の概要を理解する。	各大学の入試難易度(全国偏差値)と社会的評価(就職)について理解し、目標とすべき大学もしくは学部の設定と、進路実現に向けた学習や諸活動について理解する。
	中2	2	様々な職業について理解し、仕事の大切さや生きがいについて考える。	文章を組み立て、正しく相手に伝えるための文章力と表現力を身に付ける。 ・現実的かつ適切な学習計画が立てられる。 ・偏差値と学習の評価。フィードバックができています。	CEFR A1 英検3～4級に合格する。	GTZ B1～B2	・世界の国について知る。(社会科との連動) ・ネイティブとの会話や英会話オンラインを通して、コミュニケーションを取れるようにする	学習の記録として、振り返りとともにテストの反省ができる。 記録の振り返りから、学習習慣を確立できる。 日々の気づきを主体的に残すことができる。	働く意義を理解する。 職業探究を通して、仕事の内容を理解する。 仕事の厳しさや大変さを理解しながら、やり甲斐や生きがいを持って働いている人々への理解と共感を深める。	学習成績の評価について理解する。 模試や実力テストにおける偏差値や標準点(標準得点)の意味を理解し、客観的な実力の指標として目標とすべき一つの値であること、それがどのように大学入試に接続するかについて理解する。	中学校の学習内容と高校での学習事項との関連性について理解し、高校卒業まで見通した進路実現のための計画を(偏差値・検定等)立てられるようにする。
	中1	1	学習の大切さを学び、(成績の)目標を持って学習に臨む習慣を身に付ける。	習ったことを、きちんと覚えるための学習方法を習得する。 ・覚えるため、また後で見直したときに理解できるノートの取り方を修得する。 ・意義と目的を理解した上での学習方法を習得する。(例:ノートはどうして取るのか等)	英検4級に合格する	GTZ(LAのみ) B2～B3	・適切な英語学習により、楽しく英語でやりとりができるようにする。英語によるコミュニケーションに対して前向きになれるようにする。	日々の活動の振り返りを、ポートフォリオとして記録する習慣を身につける。	職業について知る。 社会構造に組み込まれた現実的職業観を育成する。	進路実現に向けたこれからの手順および各学齢ですべきことや目標について理解し、三位一体の進路指導の重要性について認識する。	